甲陵漫録＝佐藤成裕
柳庵雑筆＝栗原信充

3

日本随筆大成

第三期

吉川弘文館

日本随筆大成　第三期第二巻
昭和四年七月十五日発行
編纂者　日本随筆大成編輯部
代表　早川純三郎
発行者　桜井庄吉
発行所　日本随筆大成刊行会

日本随筆大成
〈第三期〉3
昭和五十一年十二月六日　印刷
昭和五十一年十二月十五日　発行
編　者　日本随筆大成編輯部
発行者　吉川圭三
発行所　株式会社　吉川弘文館
〒113　東京都文京区本郷七丁目二番八号
電話東京八一三―九一五一〈代表〉
振替口座東京〇―二四四番
製　作＝株式会社　たんちょう社

解　題

本集には、中陵漫録、柳庵雑筆の二種を収める。

中陵漫録　十五巻

佐藤成裕　著

本書は、物産家として知られた著者が、採薬のため自ら跋渉した東は陸奥出羽より、西は薩摩大隅に至る五十七国の薬種物産を主とし、その名称・形状・効能・産地・採集栽培の法よりして医療のことまで説き、或いは古書を引いて考証し、また各地の地勢・人情・習俗・名勝旧跡・巷説奇談をも録しており、更には詩文書画より考古のことに及び、また国内の事のみならず、長崎に在っては、来舶の清人・阿蘭陀人につき、薩摩に往きては、琉球人にあい、それぞれその地の風俗言語を問うなど、その記述はきわめて多方面にわたっており、しかもそれらはみな実地に見聞したものであるために叙述に精采があり、読者の興味をひくものが多い。

本書が成ったのは文政九年の夏であるが、年次を追って書き記したものではないので、同じ内容のことを二度三度記すなどの重複もあり、必ずしも整理校定を経たものとはいいがたく、それ故、執筆をはじめた時期も明確ではない。

著者は佐藤氏、名は成裕、字は子綽、通称は平三郎、中陵と号し、その居る所を莠莪堂といった。宝暦十二年二月十一日、江戸青山に生れ、安永七年十七歳にして採薬のため関八州を遊歴し、のちに島津侯・上杉侯の聘に応じ、それぞれその封内に薬草を採り、後進を誘掖し、物産を興した。寛政十

二年、水戸侯に仕え、嘉永元年六月六日、水戸に歿した。年八十八。本書の他、山海庶品一百巻、採薬録五巻等、数種の著書がある。

今回の重刊にあたっては、内閣文庫蔵写本、喜多村信節旧蔵本（十四巻十四冊）、無名叢書（第一～第五）、及び無窮会本をも参考とした。

柳庵雑筆　四巻

栗原信充（くりはらのぶみつ）著

本書は、屋代弘賢に従い学を問い書法を学び、古今要覧稿の編纂にも関与し、後に考証学者として知られた栗原信充が、永年にわたって見聞鈔録したものの中から抜萃して編して四巻となした考証随筆である。内容は全五十条から成り、故実の考証を主とし、史伝、戸籍、人口、昔の物価からうまれかわりのことに至るまで甚だ多岐にわたっている。巻頭に弘化二年の自序があり、「録次手に信せ、類を以て相従はず、故に雑筆と云ふ」と書名の由る所を示している。嘉永元年の刊本があり、今回はそれによって校訂した。

著者栗原信充についての略伝は、第二期第九巻所収の「先進繡像玉石雑誌」の解題を参照ありたい。

（北川）

试读结束：需要全本请在线购买： www.ertongbo

目次

中陵漫録……一
柳庵雑筆……三六三

（解題　北川博邦　小出昌洋）

中陵漫録

中陵漫録 序

夫坐二一室一。按二地志一。稽二図経一。説二山川一。弁二百卉一。猶二是死象之骨一。案レ図以想レ生也。其言雖二明弁一。隔レ靴搔レ癢。終為レ不二爽快一焉。豈唯地理家与二本草家一乎。講二聖人道一亦然也。不レ求二之聖人之本色一。而徒拠二先儒之私言一。雖二千万言解説一。要レ之逐レ影捉レ風。畢竟無レ益二於学道一也。余久持二此見一。凡違二聖人一。乖二離正文一。曲二説注釈一。不レ堪レ覧レ之也。近日姪三伯。持二其本草師之所レ著中陵漫録一。示レ余曰。吾師為下採二百薬一。及求中識二異草奇木一。親跋二渉山川一。五十余国。採二撿薬草木数万品一。此書載下所レ聞二見於其諸国一之事件上。蓋其余事也。余嘉下其躬所二渉歴一。非中孟浪胡説上。読レ之足跡所レ及。東尽二陸奥出羽一。西至二四国九州一。在二長崎一。則対二唐山紅毛之商客一。聞二其土風一。往二薩摩一。則見二琉球人一。訪二其習俗地形一。由レ此観レ之。所レ載不レ止二四海内一也。句々章々。知レ不レ可レ知。見レ不レ可レ見。是以追巻貪読。不レ能レ放乎。喟然歎曰。奇哉斯書也。譬レ之猶二大嶽一也。夫。猶二蒼海一也。夫。其所二蓄蔵一者多矣。任二之人之所レ取。医薬人。取二其薬性僻薬之言一。経済人。取二其利用厚生之言一。風騒人。取二其山谷幽邃川流景致一。好

事人。取二其外国奇異生物珍怪一。武弁人。取二其地理夷険兵食軍須一。此余永夜話柄。拍レ案談一々莫レ不二至宝一也。偉哉斯人也。有レ文而且利足。日々取二許多道程一。登二峻削摩天之嶽峯一。降二怒巌頑石之洞壑一。未二嘗疲倦一矣。又稟性康彊。老於二異郷水土風霜暑雨一。未レ嘗二感冒少疾一矣。故記レ所レ見。録レ所レ聞。殊為二詳悉一也。抑天生二斯人一。使下発二堪輿之秘奥一。出中療病之薬材上。所謂興二神物一。以前二民用一者乎。何其稟賦如レ是。鍾二衆美一也。其学識吾未レ尽レ之也。如二其本草説一。吾素無二此学一。不レ能レ知二其卓見発明一也。姑即二斯書一。而言二梗概一。嗚乎非常人。而有二非常事一。好男児而能成二好事一也。

文政九年丙戌季夏

東関　中島嘉春　撰

目次

巻之一

三面山奇境　二五
和漢の変獣　二六
姓名通考　二六
膜拝　二九
狗咽　二九
韻学　二九
手札即答　三〇
痘神　三三
隠名改考　三三
地名改考　三四
家蔵の印文　三四
量度五蔵　三四
番字の義解　三五
海蜘蛛　三五
米奇　三五
古書読法　三六
松林濤声　三六
顔回墓上石楠樹　三七
和漢の二樹　三七
田舎の節事　三八
旧所古名　三九
予卜晴雨　三九
玉島行程　三九
金沢八景　三九
町田の霊　四〇
鳩字の会意　四〇
土産の異同　四〇
薬功　四一
重脚之病　四二
忠久記　四二

试读结束：需要全本请在线购买： www.ertongbo

巻之二

載歳祀年の考　四六
小名小字の考　四六
号　例　四七
爾耳の例　四七
荒歳の詩　四八
異朝風俗　四八
菅公の賞梅　四八
熊野の葑田　四八
獸類所レ好　四九
字音の誼　四九
自鳴鐘　四九
日本の銀銭　四九
薬材の和称　四九
吉悪有無　五〇
郡　県　五〇
御製の碑　五〇
倭寇の禁　五一

曬衣詩　五一
五尺童子　五一
番　銭　五一
蜃　器　五二
魚米の考　五二
白気の奇話　五二
蚘　虫　五二
棕櫚の詩　五三
掌中の燈　五三
緑沈の説　五四
磁石の談　五四
舜祠の災　五四
代指病　五五
黄精の製　五五
禹余粮の弁　五六
異島の白鳥　五七
五穀の解　五七

玉島紀行　六一
野牛乳　六一
二都の大仏　六二
土語　六二
旅行　六三
吉雄の明察　六四
屋壁　六四
生二鬢髪一　六五
徳七天狗談　六五
有漢の壁題　六六
游中の奇縁　六六
小蓬萊　六六
夏桃の豊蔵　六六

巻之三

雪中の芭蕉　六七
寒中の蚊蠅　六七
会津の胡桃　六七
唐製の針　六八
富士を望　六八
紙製　六九
花手巾　七〇
画考　七一
柿心黒木　七一
老桂　七一
誤字考　七二
異雞の談　七三
睪丸の珠　七三
蘭画　七四
白沢　七七
松材　七八
鷹移　七八
芭蕉の災怪　七九
奇婦奇童　七九
奇士　八〇

瓶花　八〇
槿籬　八〇
渾天儀　八一
海族珍味　八一
雪国の雪舟　八一
一年景　八一
天童山　八二
黒花の瓣　八二
橋の類　八二
倭人の入貢　八三
腐儒の字義　八四
打毬の戯　八四
田舎の妻　八四
樹衣の蔬　八四
五辛の説　八五
莫大海　八五
百草霜　八五
腐骨瘡　八六
紅毛本草　八七

巻之四

古人九数　八八
五臭　八八
古瓦　八八
奇話　八九
柿餅　九〇
昆布　九一
熊野杉　九二
一伏時　九二
笛材　九二
酒徳　九三
棄癩　九三
拝仏　九三
奇病流行　九四
晩霜　九四

除虫　九四
百金　九四
蝦蛾　九五
浅香沼　九五
金山寺塩豉　九五
針灸和琴　九五
満願寺の竹　九六
三月三日の潮干　九六
狐鳥を埋　九七
村名取　九七
荷杖　九八
山籃　九八
野火の詩　九八
黄花不レ変　九八
胴二熊蹯一　九九
富士詩　九九
諸菓貯　九九
田舎美羹　一〇〇
磨沙　一〇〇
集の字　一〇一
松虫　一〇一
義倉　一〇一
土器　一〇一
食虫　一〇一
舟行戒　一〇一
諱謚　一〇二
飼虫　一〇二
植松　一〇二
挿杉　一〇四
火籠　一〇九
兎害　一〇九
備前会養　一〇九
入唐書籍　一一〇

巻之五

痢疾の妙薬　二一
浜醬油　二二
阿蘭陀の外治　二二
小水の利薬　二三
諸芸の妙術　二三
乞　食　二四
会津の老猿　二四
黒奴毒死　二五
鶏　犬　二六
払林狗　二七
学　館　二八
古医の至政　二八
古文形容　二八
頓　食　二八
誰昔疇昔　二九
異　像　二九
玉　段　二九
槲　葉　三〇
竹　島　三二

蛇含二燕卵一　三三
阿蘭陀の秘薬　三三
仏　像　三三
小町塚　三三
鋳　印　三三
烏臼木　三四
阿蘭陀の牛打　三四
猪児の生焼　三四
黒奴の浴水　三四
去猪子宮　三五
取二猪血一法　三五
孕　兎　三六
ポンス　三六
三　絃　三六
鳥　居　三六
穴門山記　三七
海　苔　三八
三　子　三八
山東山西　三九

浜焼　一二九
奇病　一二九

巻之六

西湖の里程　一三一
糟糠瓶　一三六
茱萸考　一三一
履制　一三八
阿蘭陀の栽樹　一三一
海族の珍味　一三九
加比丹の齢話　一三一
搾油師　一三九
除疫　一三一
入目　一三九
火済の秘薬　一三三
入歯　一四〇
木の実団子　一三三
豆船　一四〇
海鰻　一三四
産家の禁食　一四一
肥後瓢箪　一三四
桃符　一四三
痢薬の応験　一三五
葵坂　葵塚　一四三
痳薬の応験　一三五
半裂　千貫虫　一四三
蝮蛇の歌　一三六
林発枝　一四三
河太郎の歌　一三六
奇狼　一四五
蕃産の猫　一三六
奇猫　奇狗　一四五
田植　一三七
法花碑　一四六
徐福の田植　一三七
山田守　一四六

试读结束：需要全本请在线购买： www.ertongbo